

10:00-16:00 ※26日は15:00終了

展示・体験 岩手銀行赤レンガ館 市場・芸能 プラザおでって広場 (25日のみ) 岩手県二戸市・八幡平市に流れる安比川流域では、人々は古から「うるし」と共に生きてきました。 山から木を切り出し、木地を挽き、ウルシの樹液を用いてつくられる漆器やそこでの暮らしは、 ここにしかない風土が育んだ文化です。この展示で「奥南部漆物語」をより深く体感してください。



木を植え、育てる

漆林づくりは人の手がかか ります。一朝一夕にはでき ないからこそ、地元の人、 企業、子供たち、みんなで 漆文化をつないでいきます。

漆掻き

6月から10月ごろまで山に 入りウルシの木に傷を付け ながら樹液である漆を採取 します。木の状態や環境を 見極め、一滴一滴を丁寧に。

木地(きじ)

漆器のベースとなる木地を 木の塊から削り出します。 樹種ごとの性質を見極めた 繊細な量産は、手しごとだ からなせる業です。

塗り

掻き解説 THE WAY IN

地元で採れた浄法寺漆を木 地に塗り仕上げます。器の 形を考え、質、美しさ、あ らゆる角度から漆の魅力を 引き出し、使い手へ。





見て・ふれて漆のことがよくわかる! 県内作家による漆器が100点以上並び ます。この機会にぜひお求めください。



菅原咲 島川千世 富士原智子 富士原文隆 増子菜美 村上尚美

高橋睦 ゆうび 岩舘 隆 岩舘 巧 玉山 保男 佐々木 暢子 滴生舎 佐々木春菜 安比塗漆器工房



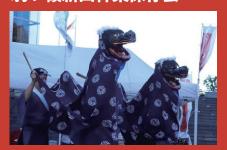




プラザおでって広場会場

/25500

駒ヶ嶺新山神楽保存会 11:00-11:30 -



二戸市浄法寺に800年以 上前から伝わる神楽。五 穀成就、悪病退散等を祈 念し、南部公にも舞を奉 納。冬期間には近郷を興 業してまわったともいわ れている。舞は40数種類からなり、現在では権 現舞、ラッパ舞、番楽、女舞、三宝荒神、酒濾し 舞、杵舞、盆舞等が伝え られている。

おいしい! 地場産品 コーナ

- 八幡平市産業振興(株) 麹屋もとみや

- 石橋せんべい 姉帯菓子舗 キッチンガーデン
- Coelacanth COFFEE

浅沢神楽 13:30-14:00



八幡平市<u>浅沢に伝わる神</u> 楽。鎌倉時代、現在の二 戸市浄法寺町に住んでい た山伏が神社を建立した 時に、浄法寺城主と領民 の安泰や五穀豊穣、悪疫 退散などを祈願し奉納し た舞が始まりと伝わる。 一時廃れたが、昭和50年代に復活。権現舞、虎の口、鶏舞、ホロロ、杵舞などがある。